

学校教育目標

伝統ある梅花教育の精神「耐雪梅花麗 経霜楓葉丹」を基調に、真理愛・品性・忍耐を中核とした人格教育に努め、生徒、保護者、市民の信頼に応える。

生徒の実態

- ・集団としての行動様式が身についている
- ・指示に従いきまりを守ることができる
- ・友と上手に関わり合いたいと願っている
- ・自分から動いたり、自分の考えを表現したりすることを伸ばしたい
- ・学習の継続、発展の面を伸ばしたい

保護者の願い

- ・安全で安心できる学校生活
- ・将来に向け自立できること
- ・学力向上

小諸市・梅花の香りプラン(抜粋)

- ・名前を呼ばれたら「はい」の返事
- ・はき物「揃えて」気持ちよく
- ・大きな声で「おはよう」「こんにちは」
- ・「きまりを守り」誰もが安心
- ・過ちは素直に認めて「ごめんなさい」
- ・「譲り合い」「助け合い」「ありがとう」

願う生徒の姿

知性豊かな生徒(知性) 心豊かで品性のある生徒(品性) 強靱な心身を持つ生徒(耐性)

自らが未来を切り拓いていく学力を育てる教科指導

全校研究テーマ

主体的に学習に取り組み、学びの質を高める生徒の育成
～活用力の向上を図る指導方法の工夫～

本年度の重点

- ①お互いに支え合い、理解や技能の向上に取り組むことができる学習集団づくり
 - 授業の工夫が生徒に伝わる教材研究
 - 「ねらい・めりはり・見とどけ」の3観点に沿った授業改善の継続
- ②家庭学習の質の向上
 - 授業や定期考査と関連させ、生徒が自らの伸びが感じられるような工夫
 - 自主的な学習を奨励
- ③学習相談の機会を充実
 - 学び直し、個別指導の機会を日課に位置づける。

常に研鑽し高め合う教師

- ・市梅花教育再構築事業の活用
- ・教科会による研究の日常化

ついた力の検証

- ・学校評価アンケートの中に①②③についての項目を位置づけて検証する。今年度(平均約70%)を上回ることを目指す。
- ・学調早期採点等に取り組み、重点を決め改善策を策定し検証を行っていく。

中期的目標

自立した生徒の育成
地域を支える一人としての自覚と実践力

地域の一員として創造的な実践力を育てる

- ・地域と共に育つ学校づくり
- ①芦中版「信州型コミュニティスクール」の活動を通して
 - 組織づくりと情報発信
 - 関係する主体者との連携
 - 今までを大切にしつつ、今後を見据えた諸活動の見直し
- ②心を育てる継続的な指導
 - ・福祉体験学習・職業体験学習
 - ・地域に学ぶ学習・ISO活動
 - ・生徒会・学級活動・部活動
- ③小・中・高等学校との連携

他者に共感し共に高まろうとする心を育てる生徒指導

- ・どの生徒も安心して生活できる
- ・基本的な生活習慣の定着
- ①生徒の心に寄り添える教師
 - 生徒の声に耳を傾け願いや悩みを聞き取り勇気づけられる教師
 - 複数の目による生徒の把握と理解、相互の情報交換
 - 多くの職員が、個に寄せる目標や見通しを共有できること
- ②家庭との連携
 - 家庭の思いや状況に則した指導
- ③外部諸機関との連携

本年度の重点

- ①学力の向上
 - ～授業への取り組み方、家庭での学習のやり方がわかる生徒～
- ②地域社会の方々との連携・協働
 - ～関わりの中から学び信頼を得る営みの充実～
- ③学び続け自己変革できる教職員